

2007年3月期中間 決算説明会

2006年10月26日

NECリース株式会社

目 次

1. 2007年3月期中間実績報告

- 業績概要
- 事業別売上高・売上総利益
- 事業別契約実行高
- 機種別賃貸事業契約実行高
- 事業別営業資産残高
- 不良債権の状況
- 資金調達の状況

2. 2007年3月期中間の成果

- 新中期計画 (2006年度～2008年度)
- 新中期計画達成への助走

3. 2007年3月期計画

- 業績予想
- 経営課題
- 配当予想

会社概要

1. 2007年3月期中間実績報告

■ 業績概要

(単位: 億円)

	2006/3期中間	2007/3期中間	前年比
売上高	1,325	1,347	1.6%
経常利益	43	44	1.4%
中間純利益	25	26	1.7%
1株当たり中間純利益	117円06銭	119円01銭	
営業資産残高	6,205	6,679	7.6%
純資産	534	579	8.4%
自己資本比率	7.8%	8.0%	
1株当たり中間配当金	18円00銭	22円00銭	

(億円未満四捨五入)

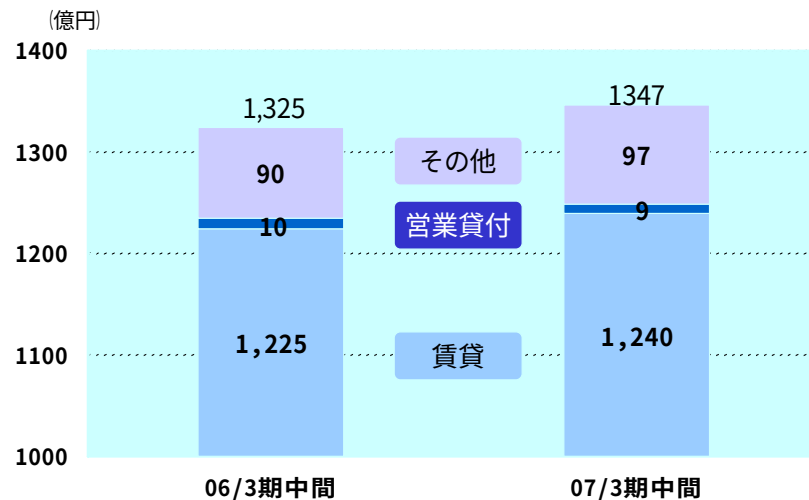
事業別売上高・売上総利益

(単位: 億円)

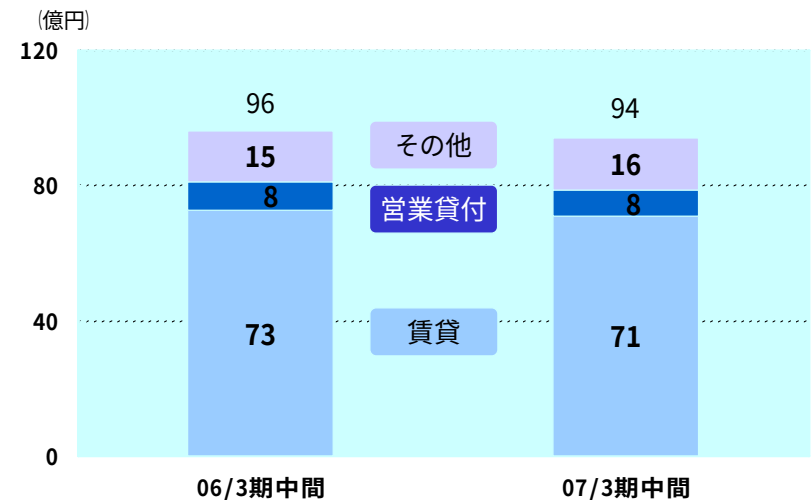
	2006/3期中間				2007/3期中間				前年増減	
	売上高	売上原価	資金原価	売上総利益	売上高	売上原価	資金原価	売上総利益	売上高	売上総利益
賃貸事業	1,225	1,134	19	73	1,240	1,148	21	71	15	-2
営業貸付事業	10	0	2	8	9	0	1	8	-1	-1
その他事業	90	74	0	15	97	82	0	16	8	0
合 計	1,325	1,208	20	96	1,347	1,230	22	94	22	-2

(億円未満四捨五入)

□事業別売上高



□事業別売上総利益



■ 事業別契約実行高

(単位: 億円)

	2006/3期中間	2007/3期中間	
			前年増減
賃貸事業	952	1,059	107
営業貸付事業	1,106	1,151	45
割賦販売	44	55	11
営業貸付金	1,062	1,096	34
その他事業	20	21	1
合 計	2,078	2,231	154

(億円未満四捨五入)

※検収ベース

■ 機種別賃貸事業契約実行高

(単位: 億円)

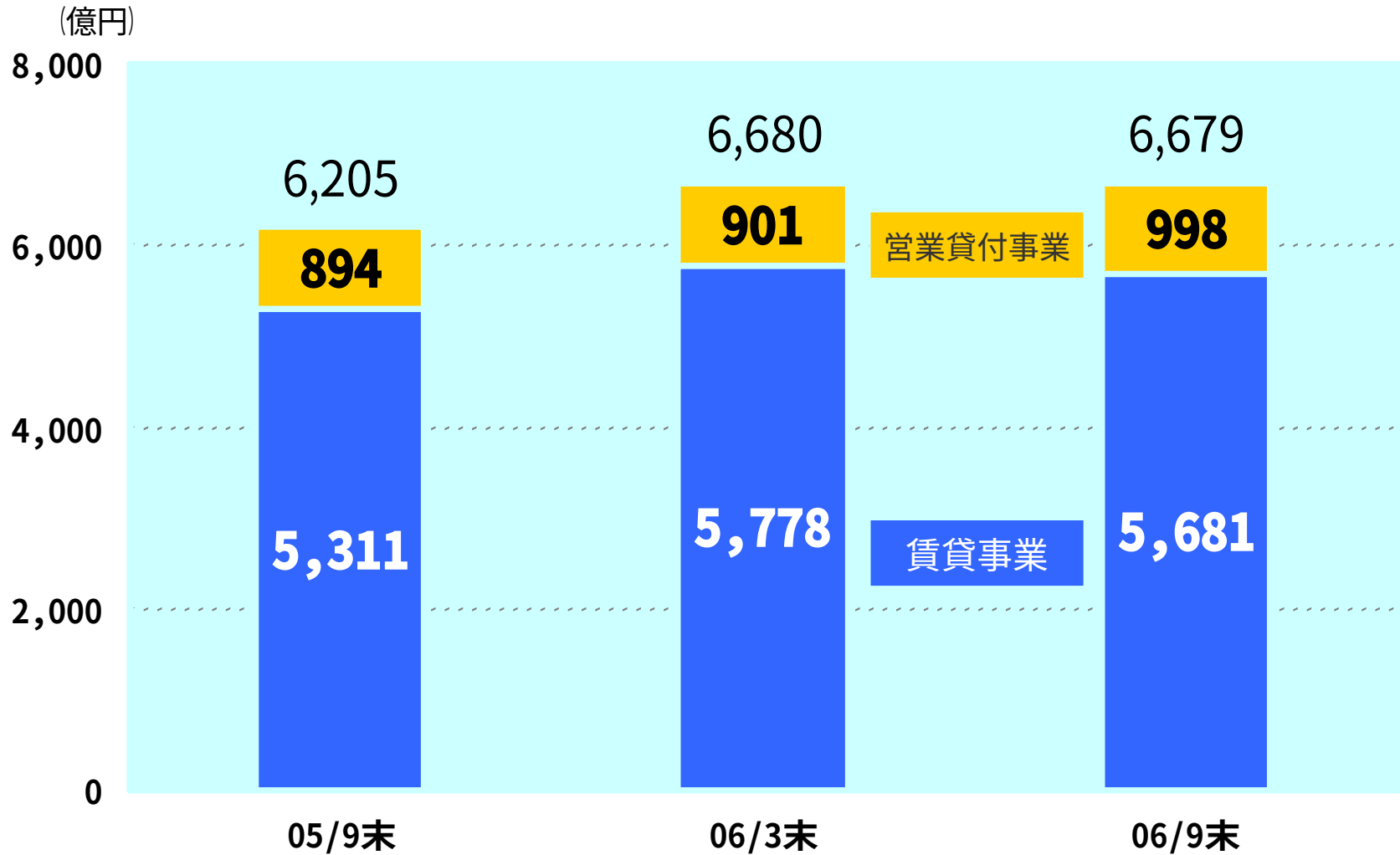
	2006/3期中間	2007/3期中間	
			前年増減
情報通信機器	715	825	109
電子計算機及び関連装置	347	396	49
ソフトウェア	296	346	50
通信機器及び関連装置	73	83	10
事務用機器	84	73	-11
その他機器	153	162	9
合 計	952	1,059	107

(億円未満四捨五入)

※検収ベース

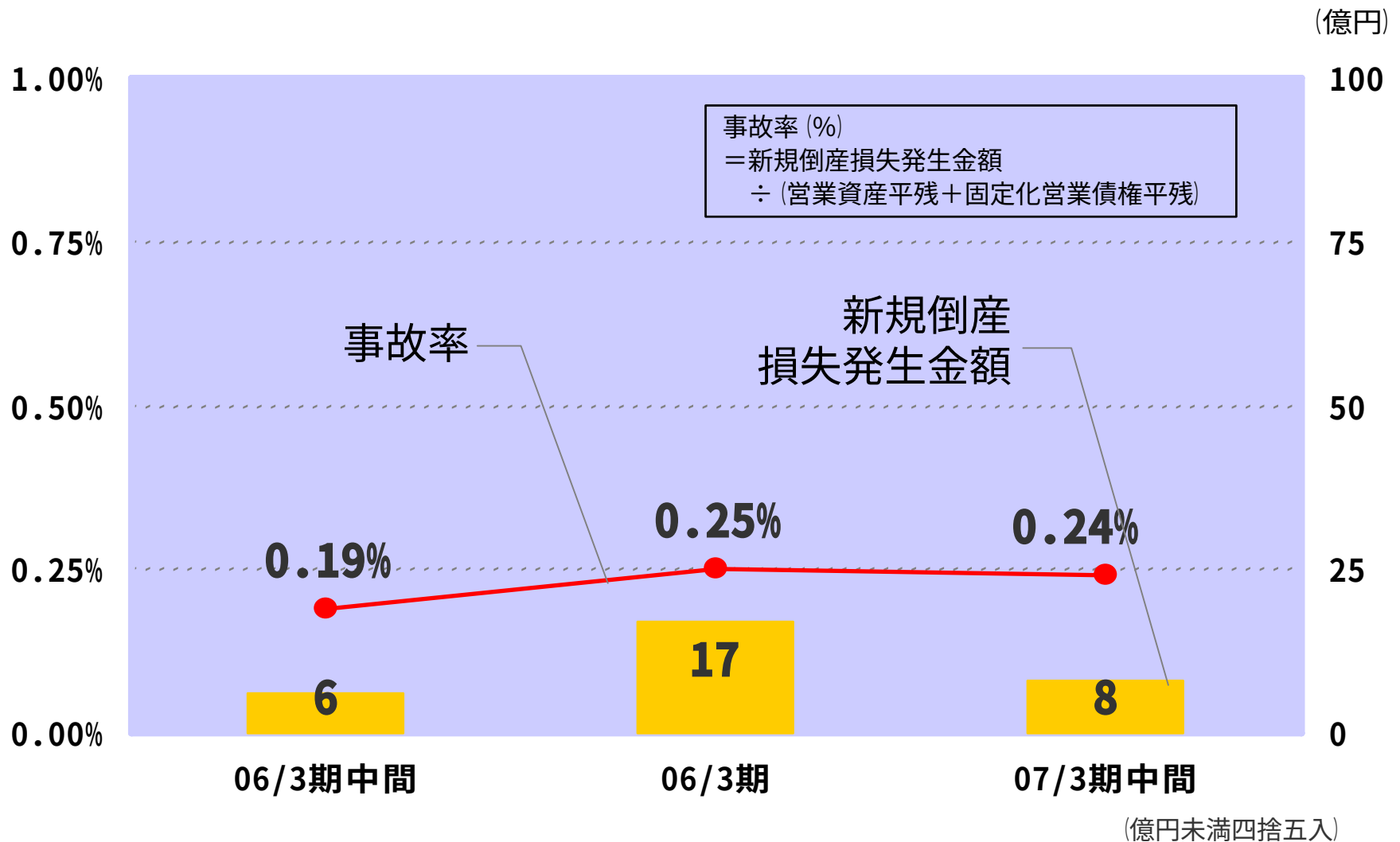
(注) ★代表資産ベース→個別資産ベース

■ 事業別営業資産残高

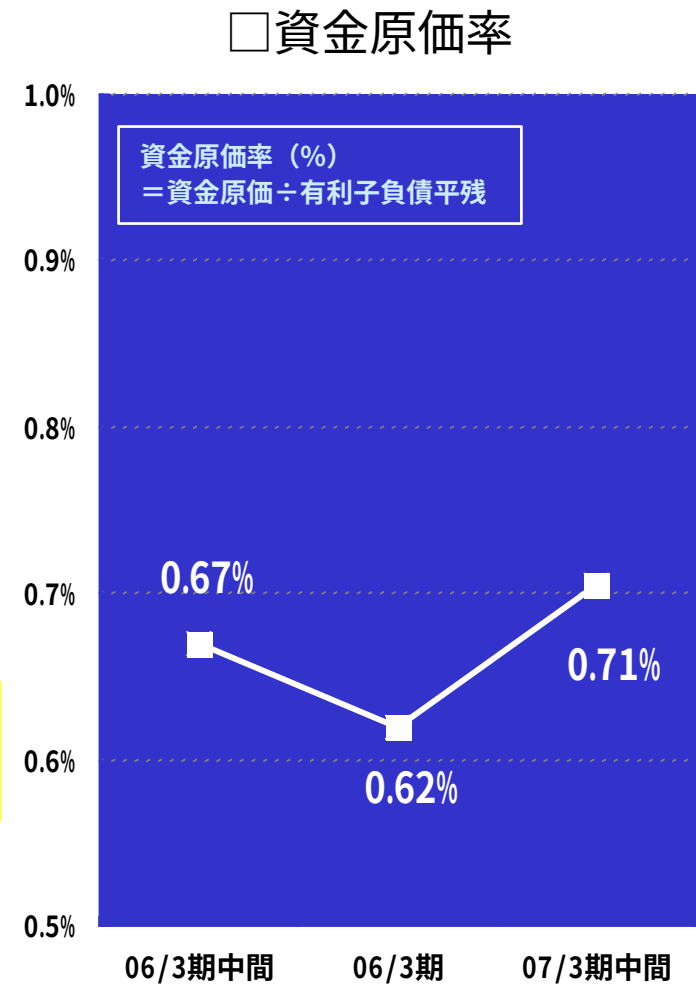
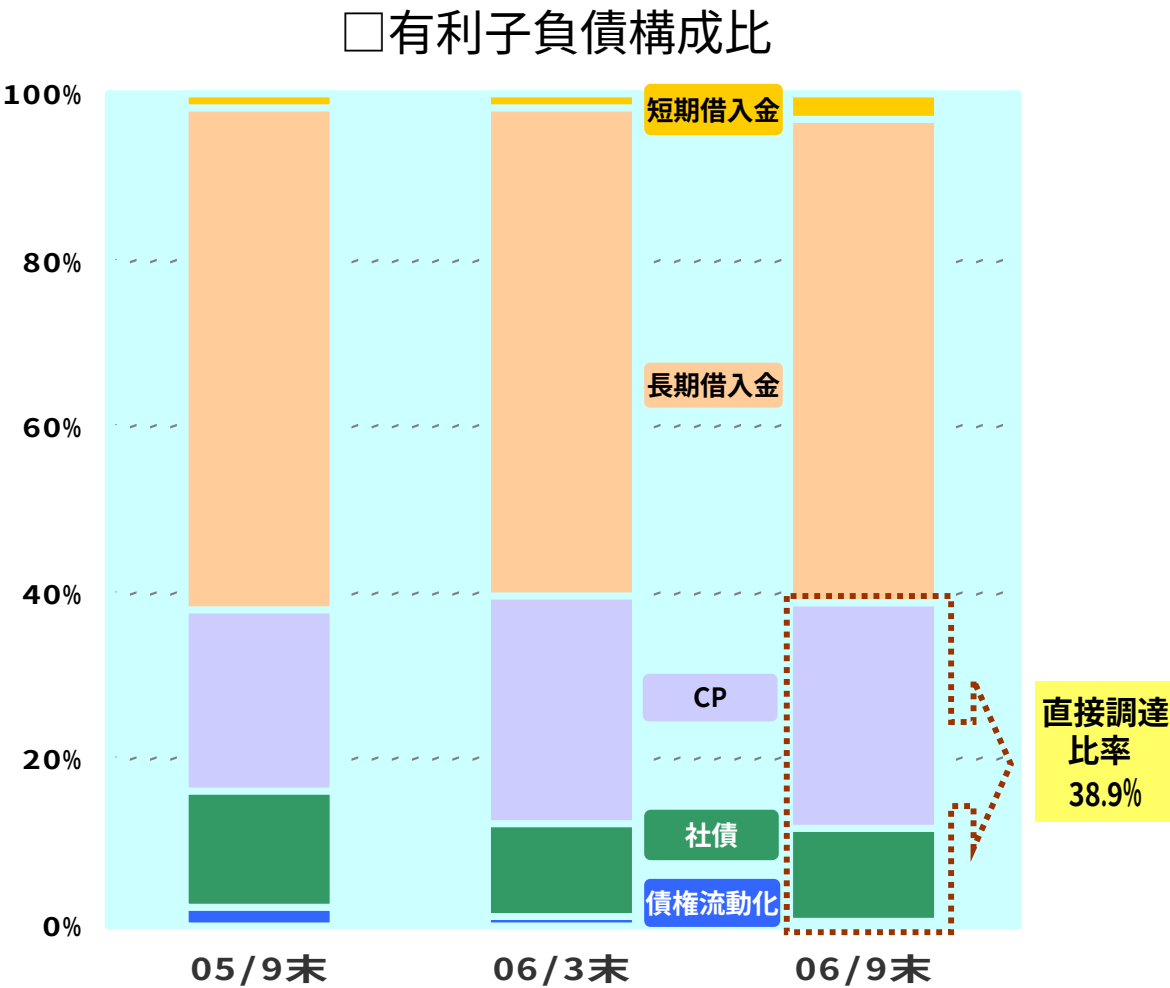


(億円未満四捨五入)

■ 不良債権の状況



■ 資金調達の状況



2. 2007年3月期中間の成果

■ 新中期計画 (2006年度～2008年度)

1. 営業戦略

- a. NECグループとの協創
- b. 蓄積された知財・資産の活用
- c. 事業ポートフォリオ拡大への挑戦

2. 財務戦略

3. 経営・事業・経費効率化戦略

4. CSR経営の更なる向上

■ 新中期計画達成への助走

1. 営業戦略

a. NECグループとの協創

□東京営業本部の設置

⇒ ICTサービスのSMB市場拡大に向けた対応

□本社営業本部の設置

⇒ ICT市場の広がりに応じた機動性の確保

□地域拠点の再編

⇒ エリア毎の性格に合わせた営業効率性

b.蓄積された知財・資産の活用

□クロスセリングツールの準備

⇒ 診療報酬債権流動化プログラム導入

⇒ 生命保険の取り扱い体制構築

□PCレンタル資産の譲受とPC-PITリリース

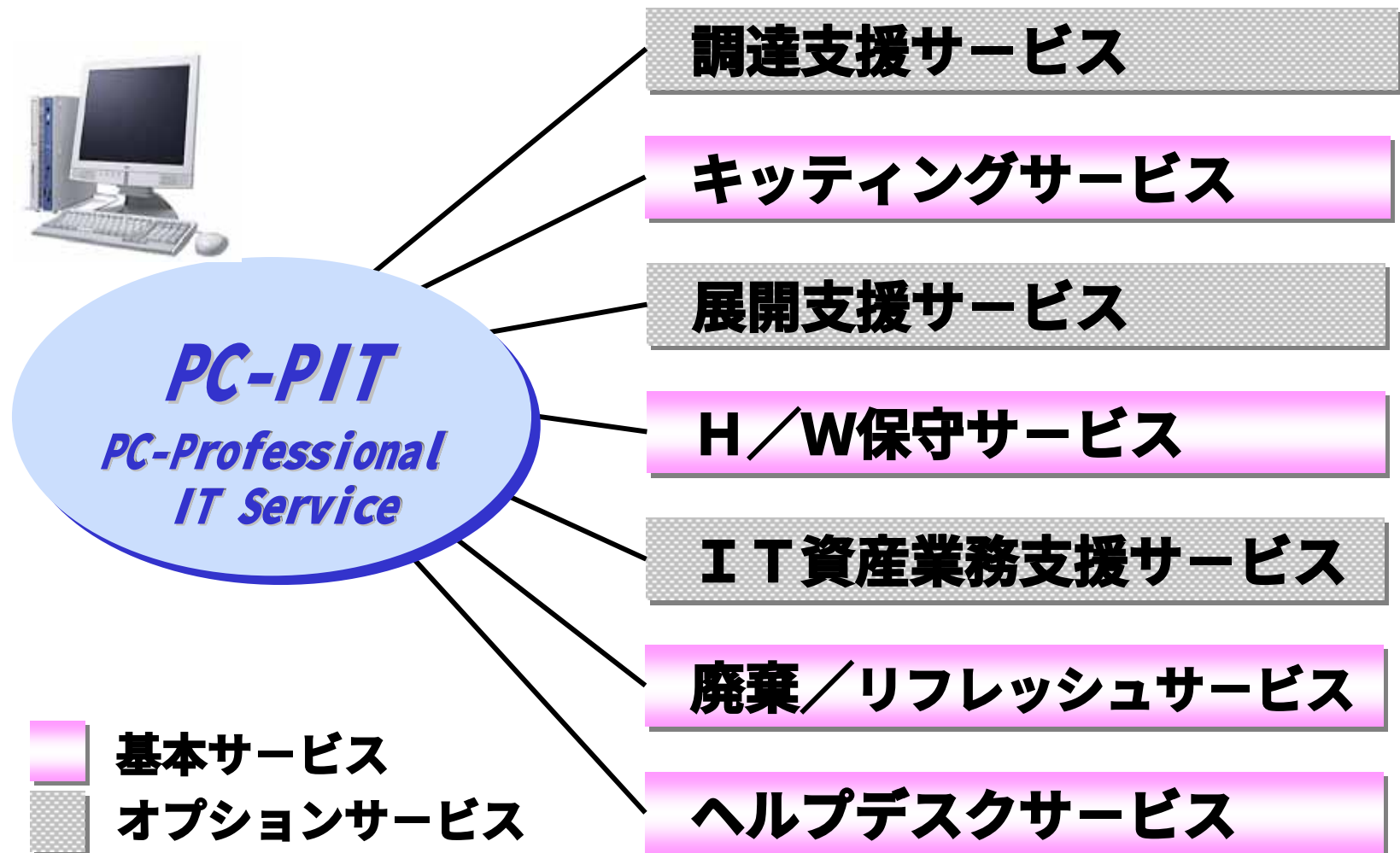
⇒ NEC PCレンタル資産の譲受と運用体制構築

⇒ ICTソリューション推進部設置

□ベンダー提携プログラム効果の拡大

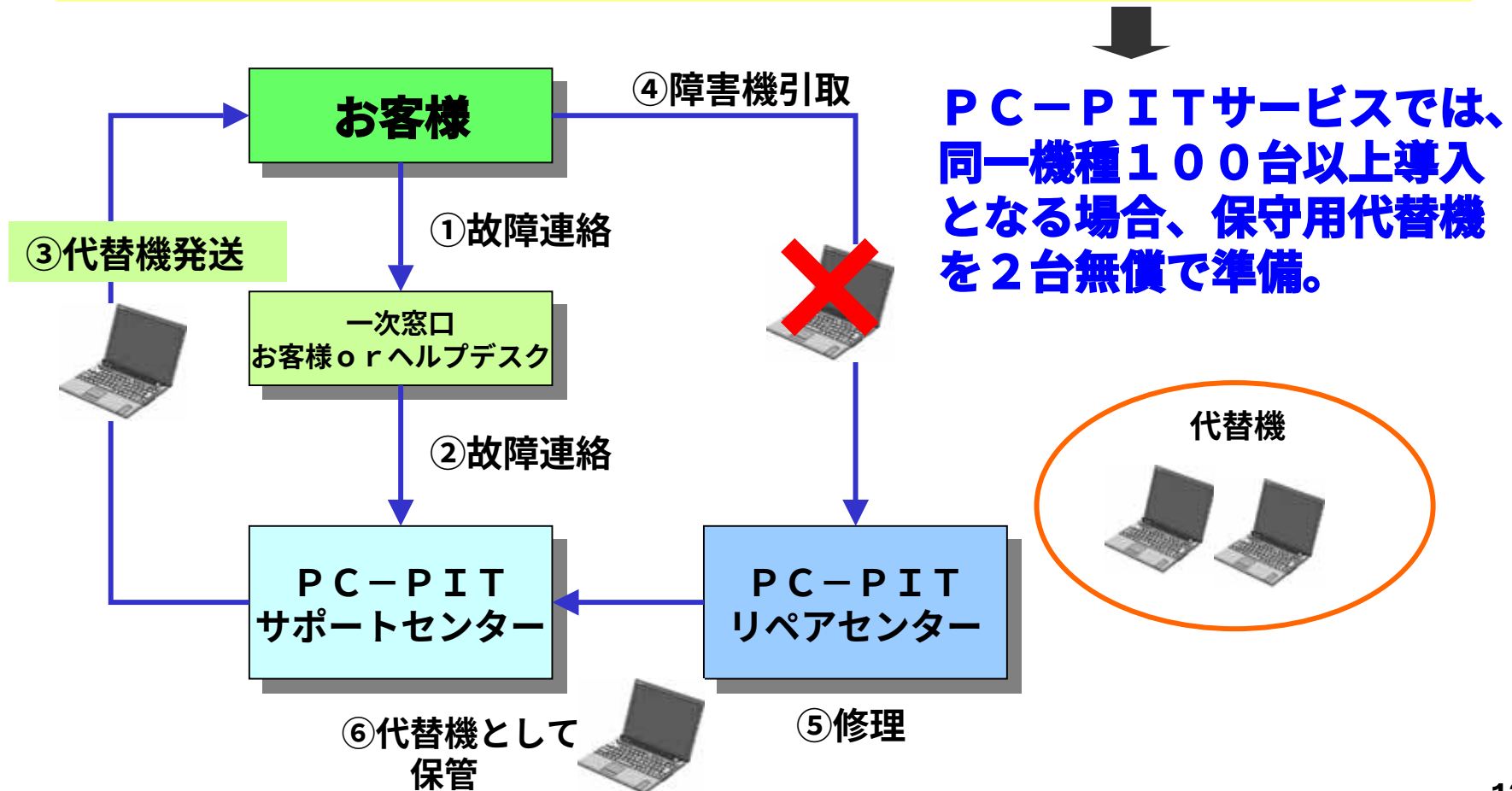
⇒ ウェルシィ社との提携、順調な滑り出し

(参考①) PC-PITサービスメニュー

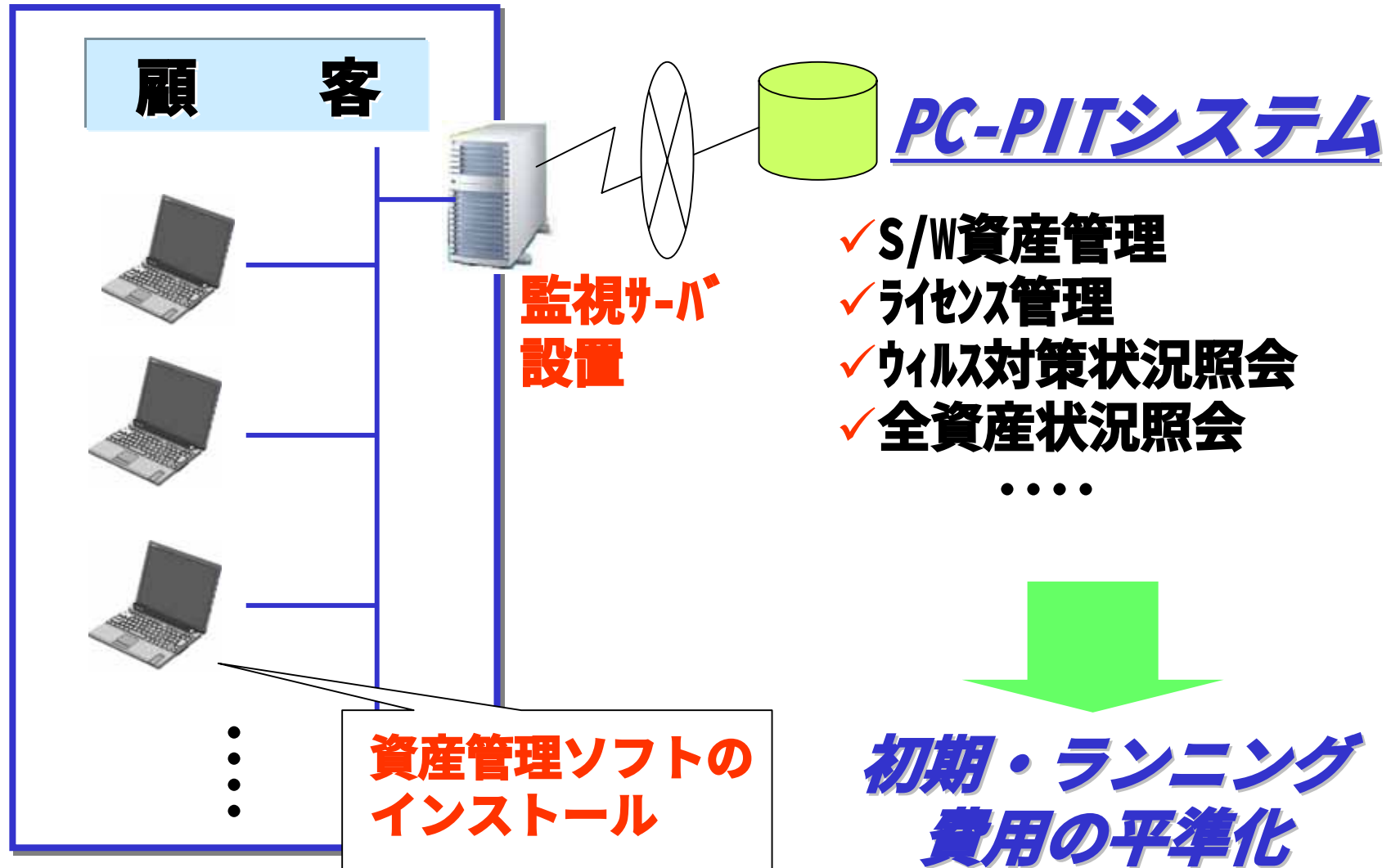


(参考②) H/W保守サービス

使用機器が故障した場合に運用がストップしないよう、余分な機器を準備するなど、お客様にとって必要以上の管理工数・コストがかかる



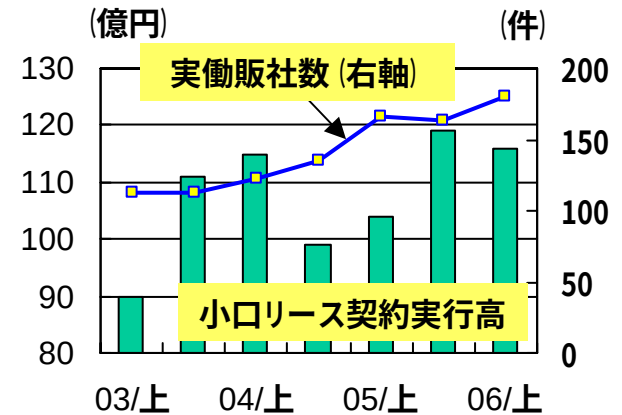
(参考③) IT資産業務支援サービス



c.事業ポートフォリオ拡大への挑戦

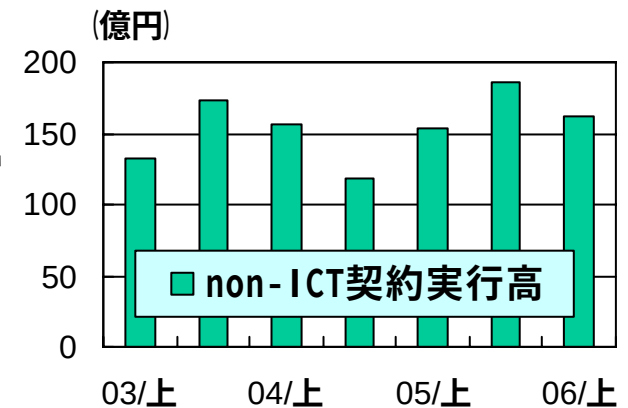
□小口リース事業サービス エリアを中部・関西圏に拡大

⇒ 事業の収益化に目処
次なる成長ステップへ



□Non-ICT機器のエリア戦略

⇒ エリア毎の特性を踏まえて
人員の再配置実行



□事業開発委員会の発足

⇒ 足下の整理から、新事業の検討に

2.財務戦略

- 社債発行登録枠1,000億円の確保
- 日本政策投資銀行、優遇金利融資の実行

3.経営・事業・経費効率化戦略

- バックオフィス業務改善プロジェクト（SMART）

4.CSR経営の更なる向上

- CSR推進委員会再編とCSR推進部設置
- 第4回日本環境経営大賞審査員特別賞受賞
- モーニングスターSRIインデックスへ選定
- チャリティオークション実施

3. 2007年3月期 計画

■ 業績予想

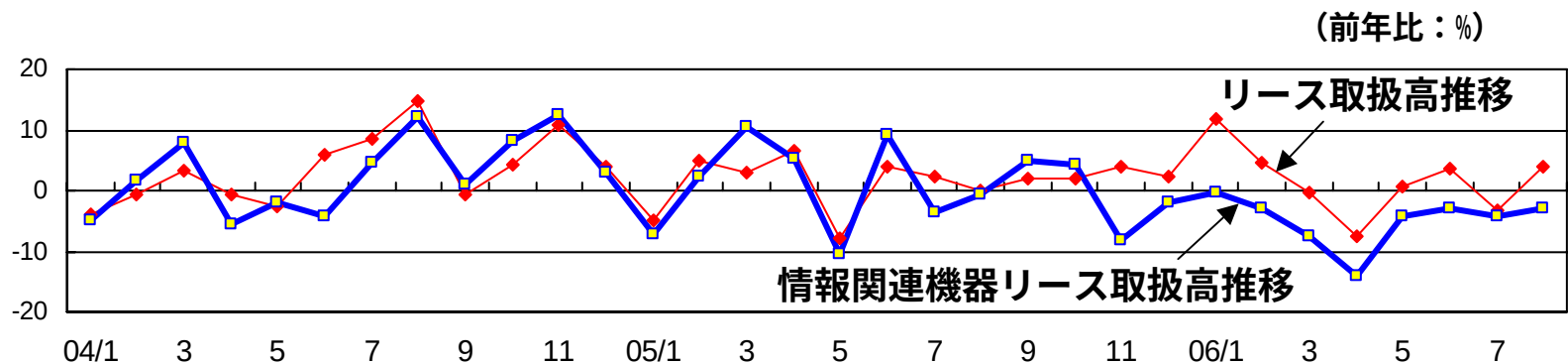
(単位: 億円)

	2006/3期 (実績)	2007/3期	
		(予想)	前年比
売上高	2,653	2,665	0.4%
経常利益	90	95	5.3%
当期純利益	53	56	5.6%
1株当たり当期純利益	246円23銭	260円06銭	

(億円未満四捨五入)

■ 経営課題

□ ICT市場回復の遅れ



□ 厳しい競争環境

- ✓ 不良債権処理の終了、攻勢にでるメガバンク
- ✓ 低金利、潤沢な資金と慎重な投資姿勢

□ 金利の上昇と遅れる転嫁

- ✓ 上昇は一段落、キャッチアップも進む

■ 配当予想

1株当たり配当金

	中間期	期末	年間
2007年3月期予想 (2006年4月25日公表)	22円00銭	22円00銭	44円00銭
2006年3月期実績	18円00銭	22円00銭	40円00銭

(注)2006年3月期の1株当たり年間配当金には、記念配当4円00銭を含んでおります。

◆ 事業の安定的成長を背景に、積極的な株主還元を目指す

会社概要

◆商号	NECリース株式会社
◆本社所在地	東京都港区芝5-29-11 NEC住生ビル
◆創業	1978年11月30日
◆純資産	579億円（2006年9月30日現在）
◆上場市場	東京証券取引所市場第一部 (証券コード: 8793)
◆代表取締役社長	加藤 奉之
◆主な事業内容	総合リース業 (賃貸事業、営業貸付事業、その他事業)
◆従業員数	494 (2006年9月30日現在)
◆格付 (R&I)	長期:A- / 短期:a-1

本資料に記載されている株主・投資家向け情報は、投資勧誘・保証を目的として作成されたものではありません。実際に投資を行う際は、ご利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。

本資料に記載されている当社の計画、戦略および業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定な要因を含んでおります。

また、本資料に記載されている経営目標は予想ではなく、将来の業績に関する経営陣の現在の予想を反映したものでもありません。むしろ、経営陣が事業戦略の実行を通じて達成しようとする目標であります。

実際の業績等は、さまざまな要因により、見通し等と大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、当社の事業領域を取り巻く経済情勢及び規制や法令の変更、潜在的な法的責任、当社のサービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力などがありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷などにより、実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

当社による将来予測に関する記述は、その日現在のものであることをご承知おきください。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、リスクや不確定要因があるため、将来予測に関して記述されていることが実際には起こらない場合もありえます。これらの記述に全面的に依拠することは控えるようお願い致します。